

## 編集趣意書

(教育基本法との対照表)

*受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-245	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
*発行者の番号・略称	*教科書の記号・番号	*教科書名		
205 三友	コⅡ 351	JOYFUL English Communication Ⅱ		

**1、編集の趣旨及び留意点**

本書は「高等学校学習指導要領」に基づき、「コミュニケーション英語Ⅱ」の教科書として編集した。編集にあたっては次の諸点に留意した。指導要領の目標にある「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する」ために、さまざまな活動場面を取り入れ、「聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの基礎的な能力を養う」ために、積極的に英語を活用する場面を取り入れた。なお、「コミュニケーション英語Ⅰ」からの継続性と発展性を保つために、基本的な英語を使うとともに、新たな構文などを取り入れた。

**2、編集の基本方針**

編集にあたっては、以下の項目を基本方針と位置づけた。

- (1) 高校2年生を視野に、基本的な英語を学び、理解し、積極的にコミュニケーション活動を行おうとする態度を身に付け、その能力を高めることができること。
- (2) 生徒の日常的な生活や関心に配慮しながら、現代日本と世界が直面する様々な課題に応じて新しい教材を発掘・作成し、多面的な角度から検討・精選すること。
- (3) 国際化の進展に対応し、新しい時代の要求に合わせ、ヒューマンイズムの観点にたった異文化の吸収と、生徒の側からの発信の両面を配慮すること。
- (4) イラスト・写真などビジュアルな要素を大胆に取り入れ、教科書全体の美的イメージにも配慮した。

**3、対照表**

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色	箇所
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	世界各地の子どもたちが、厳しい現実の中で、前向きにまた積極的に生きようとしているのかを学び、豊かな情操を身につける。	Lesson 8 P85, 86, 88, 90
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと	障がいを持った人々の生き方から人間はどのように生きていくべきかを学ぶ。	Lesson 6 P61, 62, 64, 66
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと	若者が自らの意志で世界の問題に取り組み、具体的な実行を通して自己尊重感と社会への貢献の意識を持てるようにする。	Lesson 9 P95, 96, 98, 100
第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	自然の驚異と偉大さ、神秘さを動物の生活から学び、自然との共生のあり方を考える。自然保護の視点を学ぶ。	Lesson 6 P51, 52, 54, 56
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	日本人が育ててきた自然との共存を通じて、日本への理解を深めるとともに、郷土を守るために何が必要かを考える機会を与える。	Lesson 7 P71, 72, 74, 76

#### 4、上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1. 英語の基礎である英語の発音やリズムへの理解、英文の構成などをわかりやすく解説し、教材内容の理解をすすめることとした。
2. 英語で英語の授業に慣れるために、各 Lesson に「Enjoy Talking」を配置し、英語を積極的に使うことに配慮した。
3. 学習指導要領の主旨を分かりやすくするために目次の各 Lesson に教材のテーマを配置した。

## 別紙様式9

## 編集趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

*受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-245	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
*発行者の番号・略称	*教科書の記号・番号	*教科書名		
205 三友	コII 351	JOYFUL English Communication II		

## 1、編集上特に意を用いた点や特色

総則において「生きる力」の育成や知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視すること等が位置づけられ、外国語においては4技能のバランスをとりながら積極的にコミュニケーションを図る態度を養うことが求められた。「コミュニケーション英語Ⅱ」においては、「コミュニケーションⅠ」を踏まえ発展的な学習が求められており、導入部分において高校英語の基礎を振り返るとともに言語材料で指定された文法事項を盛り込み、英語を積極的に使うために各 Lesson に Enjoy Talking 等を配置している。また教材内容を精選して思考力や判断力、表現力につなげるように工夫した。

## 2、対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
<p>まず教材内容を世界各地から取り上げるとともに、同世代を積極的に登場させ、文化の多様性や障がいについての理解を深め、それらの題材をもとに積極的にコミュニケーションを図る活動をすすめる。</p>	<p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図るとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。</p>	<p>Lesson2  Lesson6</p>	<p>35</p>
<p>Get Ready において英語を聞くことや話すことを導入し、Let's Read によって本文の理解をより深いものとし、Your Turn によって「書くこと」や「話すこと」へと発展させる。なお Listen and Sum up によって「聞くこと」も取り上げる。</p>	<p>生徒が情報や考え等を理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、様々な言語活動を行う。</p>	<p>各 Lesson</p>	<p>35</p>
<p>全体的に話したり書いたりする言語活動を取り入れているが、特に Listen &amp; Sum-up では本文の理解をもとにした聞く事を取り入れている。書く活動に置いては各課に Your Turn を配置して生徒の活動につなげている。また英語の世界で共通に歌われている歌をとりあげているのもその一つである。</p>	<p>中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする言語活動を適切に取り入れる。</p>	<p>各 Lesson</p>	<p>35</p>
<p>各課において「コミュニケーション I」を踏まえて Grammar を配置し、中学校で学んだ文法や語法及び「I」で学んだ項目を簡潔に整理し、易から難を配慮して展開した。更に、プレゼンテーションやスピーチ等の場面も取り入れ、多様な場面における言語活動を取り入れている。なお、映画教材を活用し、生きた会話を学べるよう教材を配置した。</p>	<p>生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し、定着を図るよう配慮する。</p>	<p>各 Lesson Lesson3 Lesson4 Enjoy a movie Let's Act</p>	<p>35</p>
計			<p>140</p>